

2022年10月6日

各 位

就労支援事業所のメタバース化 「仮想空間就労支援事業所デジタルマーリン構想」のお知らせ

当社子会社のガルヒ就労支援サービス株式会社(以下、「ガルヒ」といいます。)は、「仮想空間就労支援事業所デジタルマーリン構想」と称して就労支援事業所のメタバース化のための空間構築を行うことといたしましたので、お知らせします。

1. 「仮想空間就労支援事業所デジタルマーリン構想」について

ガルヒでは、障がい者支援サービスを行っており、フランチャイズ第一号施設『さくらマーリン』をオープンするなど事業の拡大を進めております。

現在、就労支援事業所に通う障がい者には、テレワーク通所(在宅支援)が離島や山間部等の通所困難なエリアや重度の障がい者などに対してのみ認められておりますが、実務ベースで行うためには課題が多く、具体的には「週に一度、スタッフと利用者の対面が必要」「実績記録の算定や実際の訓練や作業状況の確認」などの規定が壁となっており、導入が難しいのが現状です。

しかしながら、コロナ禍における感染症対策の観点やDX化の観点から見ると、これらの課題を克服しつつメタバース化する事は大きな需要が見込まれると共に、テレワーク通所について実務的な導入を推進する鍵となってくると当社では考えております。

内閣府においても、平成30年12月に「ムーンショット計画」発表し、その中の記載においても、「2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現」、「2030年までに、1つのタスクに対して、1人で10体以上のアバターを、アバター1体の場合と同等の速度、精度で操作できる技術を開発し、その運用等に必要な基盤を構築する。」などと表現されております。

つまりメタバース(仮想空間)においても、仕事のあり方や福祉サービスも変革を求められており、今後メタバース空間における障がい福祉サービスも一般的になる事が見込まれます。

ガルヒでは、「デジタルマーリン」の構想を進めることにより、障がいのある方に対して新しい生活様式の中でも就労支援がスムーズに受けられるようなサービスの提供を目指します。

また、当社においては、2022年3月頃より実店舗「CLUB CAMELOT」をメタバース空間で再現した「META CAMELOT」の空間構築を実施し、今後NFTの販売やメタバース空間でのイベントを予定するなど、実用レベルまで開発を進めており、グループでの空間構築のノウハウを共有し、ガルヒでのメタバース空間の構築をバックアップいたします。

既にガルヒでは、自社で運営する沖縄県石垣市の就労支援事業所サンマーリンをテスト施設としてメタバース化に取り組んでおり、現在の施設内を3Dモデリング化し、完成が近づいております。

【サンマーリンにおけるメタバーステスト動画は以下よりご確認ください。】

<https://youtu.be/XuclsgJ4BTE>

2. 「仮想空間就労支援事業所デジタルマーリン構想」にて想定する利用料

「仮想空間就労支援事業所デジタルマーリン構想」においては、以下の①～④の利用料等による収益を見込んでおります。

①導入初期の開発料

希望されるフランチャイズ施設より、施設のメタバース化（3Dモデリング・Unity開発）のための開発料

②ライセンス利用料

利用者1人あたり月額数千円程度を障がい者のメタバース通所によるライセンス利用料

③就労支援事業所向け管理システム『マーリンズ』との連携するシステム構築料

デジタルマーリンの利用に伴い、通所実績や訓練・作業内容の記録など、弊社が提供する管理システムマーリンズとの連携が必須になることから、システム連携の構築料

④その他

メタバース通所を行う障がい者に対して、PCやVR端末の貸出・レンタル料など

3. 今後の予定する開発スケジュール

2022年12月末

- ・マルチプレイ対応
- ・ボイスチャット機能実装

2023年1月末

- ・障がい者就労支援事業所向け管理システム『マーリンズ』との連携完了
- ・VR端末上にてPCを起動、操作しプログラミングが可能になる。

2023年2月末

- ・デジタルマーリンプラットフォーム完成。
- ・石垣市デジタルサンマーリン内にてメタバース施設見学会開催。
- ・ガルヒFC各施設へ施設のメタバース化受注開始。

以上